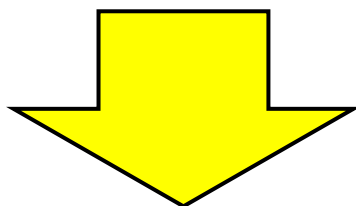


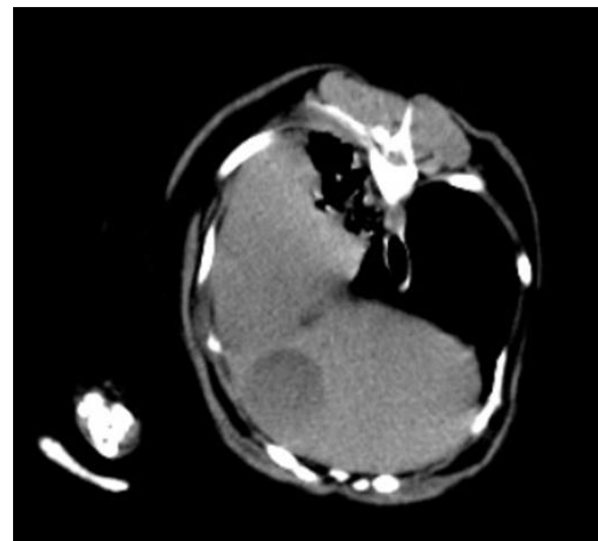
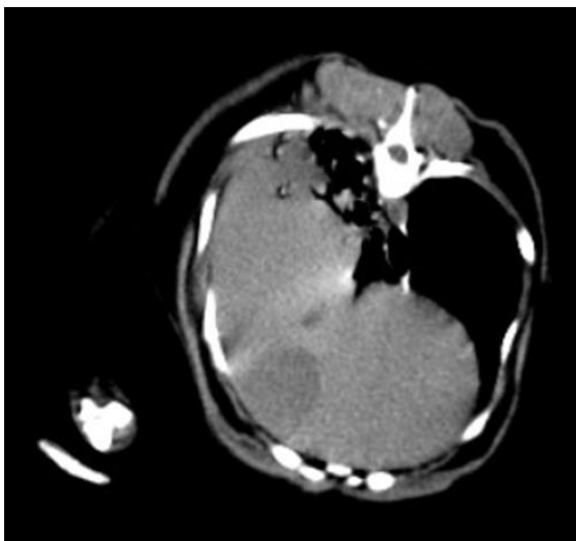
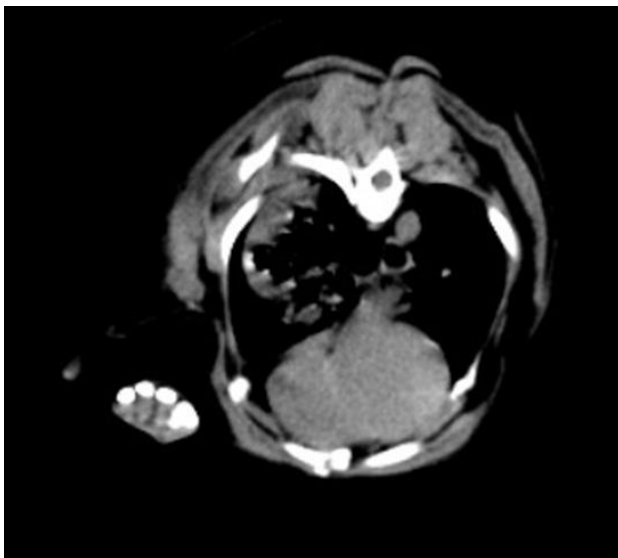
肺腺がん（犬）

- ▶ ミニチュアダックスフント、14歳、♂
- ▶ 来院主訴：呼吸促拍
- ▶ 診断経過
 - ・2017/3/16：来院 レントゲン、エコーにより右肺後葉にMass
 - ・2017/3/21：採材、病理細胞診
 - ・2017/3/27：腺管がんの疑い、食欲減退
 - ・2017/4/19：CT検査



広範囲で外科的に切除不可能ながんに対する治療を目的とした
活性化リンパ球(CAT)療法を提案

肺腺がん（犬）



肺腺がん（犬）

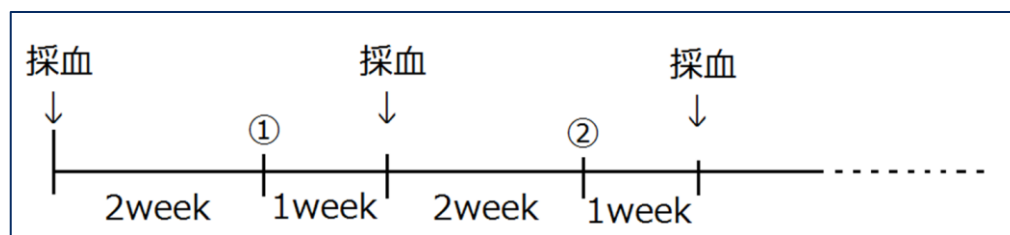
- ▶ CAT投与間隔および投与細胞数
- ▶ 3週間おきに計6回投与

投与回数	投与日	投与細胞数（ $\times 10^6$ cells）
1	4/30	33.75
2	5/21	0.2
3	6/10	3.75
4	7/1	4.92
5	7/8	-
6	8/22	-

肺腺がん（犬）

▶ 治療経過

日付	体重(kg)	経過
4/30	5.54	1回目投与 投与後嘔吐あり
5/7		採血、食欲増加
5/21		2回目投与 食欲あり、投与後嘔吐あり
5/28	5.12	採血、食欲はあるが息苦しそうながみられた
6/10	5.16	3回目投与 食欲あり、活動性もありボール遊びをする
6/16		採血、寝ているときが多く外に行きたがらない
7/1	4.92	4回目投与 健康時と同じような生活
7/8		5回目投与 食欲、元気良好
7/22	4.9	咳がやや多くみられる 食欲、元気良好
8/12	4.72	運動負荷により咳多し、食欲やや減少
8/22		6回目投与



肺腺がん（犬）



4/12撮影



7/1撮影



7/8撮影

肺腺がん（犬）

▶ オーナーによるQOL評価

★★以下のアンケートは飼い主様のご協力のもと、記載をお願いいたします

健康関連のQOL-15 (CHQLS-15)

領域	項目	悪	健康な時	良
1 幸せ	遊びたがる	☐ 1	☒ 2 ☒ 3	☐ 4 ☐ 5
	飼い主に興味を示す	☐ 1	☒ 2 ☒ 3	☐ 4 ☐ 5
	日々楽しそうである	☐ 1	☒ 2 ☐ 3	☐ 4 ☐ 5
	調子の悪い日より良い日が多い	☐ 1	☒ 2 ☐ 3	☐ 4 ☐ 5
2 身体機能	起きているより寝ていることが多い	☐ 1	☒ 2 ☐ 3	☐ 4 ☐ 5
	痛みがある	☐ 1	☒ 2 ☐ 3	☐ 4 ☐ 5
	普通に動ける	☐ 1	☒ 2 ☐ 3	☐ 4 ☐ 5
	一日中同じ場所にうずくまっている	☐ 1	☒ 2 ☐ 3	☐ 4 ☐ 5
	活動的である	☐ 1	☒ 2 ☐ 3	☐ 4 ☐ 5
3 衛生	きれいに身繕いしている	☐ 1	☒ 2 ☐ 3	☐ 4 ☐ 5
	尿臭あるいは皮膚炎がある	☐ 1	☐ 2 ☒ 3	☐ 4 ☐ 5
	被毛がベタベタしたり、もつれている	☐ 1	☐ 2 ☒ 3	☐ 4 ☐ 5
4 精神状態	ぼんやり、落ち込んで、機敏でない	☐ 1	☒ 2 ☐ 3	☐ 4 ☐ 5
	休息時でも苦しそうに呼吸している。	☐ 1	☒ 2 ☐ 3	☐ 4 ☐ 5
	時折震えや振戦がある	☐ 1	☐ 2 ☒ 3	☐ 4 ☐ 5

健康な時の状態を3とし、状態が悪ければ1or2、状態が良ければ4or5

★★以下のアンケートは飼い主様のご協力のもと、記載をお願いいたします

健康関連のQOL-15 (CHQLS-15)

領域	項目	悪	健康な時	良
1 幸せ	遊びたがる	☐ 1	☐ 2 ☐ 3	☐ 4 ☒ 5
	飼い主に興味を示す	☐ 1	☐ 2 ☐ 3	☐ 4 ☒ 5
	日々楽しそうである	☐ 1	☐ 2 ☐ 3	☒ 4 ☐ 5
	調子の悪い日より良い日が多い	☐ 1	☐ 2 ☐ 3	☒ 4 ☐ 5
2 身体機能	起きているより寝ていることが多い	☐ 1	☐ 2 ☒ 3	☐ 4 ☐ 5
	痛みがある	☐ 1	☐ 2 ☒ 3	☐ 4 ☐ 5
	普通に動ける	☐ 1	☐ 2 ☒ 3	☐ 4 ☐ 5
	一日中同じ場所にうずくまっている	☐ 1	☐ 2 ☒ 3	☐ 4 ☐ 5
	活動的である	☐ 1	☐ 2 ☐ 3	☐ 4 ☐ 5
3 衛生	きれいに身繕いしている	☐ 1	☐ 2 ☒ 3	☐ 4 ☐ 5
	尿臭あるいは皮膚炎がある	☐ 1	☐ 2 ☒ 3	☐ 4 ☐ 5
	被毛がベタベタしたり、もつれている	☐ 1	☐ 2 ☐ 3	☐ 4 ☐ 5
4 精神状態	ぼんやり、落ち込んで、機敏でない	☐ 1	☐ 2 ☒ 3	☐ 4 ☐ 5
	休息時でも苦しそうに呼吸している。	☐ 1	☐ 2 ☐ 3	☒ 4 ☐ 5
	時折震えや振戦がある	☐ 1	☐ 2 ☐ 3	☒ 4 ☐ 5

健康な時の状態を3とし、状態が悪ければ1or2、状態が良ければ4or5

リンパ球投与前 合計 **33**



4回目投与後評価 合計 **53**

肺腺がん（犬）

▶ 獣医師コメント

- ・QOLの改善は期待したレベルで効果が認められた
- ・飼育者の希望により8/22が最終のCAT治療となったが、その後発咳、削瘦が顕著になるも12/13まで生存した

▶ 飼育者コメント

- ・2017年春から夏ごろまでしか生きられないと思っていたが期待以上に食欲もあり、ボール遊びが出来るようなQOLで2017年12月まで生きてくれて免疫治療を選択して大変満足している